

【公報種別】実用新案法第 14 条の 2 の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 26 日 (2015.3.26)

【登録番号】実用新案登録第 3145060 号 (U3145060)

【訂正の登録日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【登録公報発行日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)

【出願番号】実願 2008-4792 (U2008-4792)

【国際特許分類】

A 0 1 K 13/00 (2006.01)

A 4 6 B 5/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 13/00 F

A 4 6 B 5/02

【訂正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 30 日 (2015.1.30)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮

【訂正後の請求項の数】5

【訂正の内容】

【考案の名称】ペット用摺擦具

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案はペット用摺擦具に関し、詳しくは、筒体に指先を挿入して装着して用い、筒体の先端側正面に設けた摺擦部を主としてペットの口腔内に入れて歯牙や歯茎を摺擦して清掃できるようにしながら、指が噛まれるのを筒体で保護するようにしたペット用摺擦具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

このようなペット用摺擦具で、立毛を設けた摺擦部を持つものは既に知られている（例えば、非特許文献 1 参照。）。このものは、後端に指挿入口が開口し、先端側の正面側に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた合成樹脂製の筒体よりなり、この筒体の周壁に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを周方向 3 か所に設けている。スリットは筒体に挿入された指の太さ、長さ、挿入量の違いに応じて周壁が径方向外側に弾性的に拡張して柔軟に応じながら指にフィットできるようにする。また、周壁の拡張による弾性復元力は筒体に挿入した指に対する弾性的な握持力として働き、ユーザは握持力の強弱感、装着の安定感を確かめながら装着状態を調節し、過激な圧迫や筒体脱落の心配なく使用できる。

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0003】

【非特許文献 1】意匠登録第 840449 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

しかし、樹脂成形品である筒体は、ペットに噛まれることに対する指の保護のために、適度な硬度を持つ必要から、3 か所のスリットによって周壁が拡張するにしても、千差万別の指には個別な片当たり、エッジ当たりが生じて握持圧迫が集中し、不快や痛みを受けやすいので、緩めの装着状態で使用される可能性、それによって摺擦操作時に脱落する可

能性が考えられる。

【 0 0 0 5 】

本考案の目的は、万が一の脱落の心配がなく、かつ、摺擦作用力を高められるペット用摺擦具を提供することを目的とするものである。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 6 】

上記のような目的を達成するために、本考案のペット用摺擦具は、後端に指挿入口が開口し、先端側の正面側に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、この筒体の開口端側から正面側の左右方向の中央に位置し、側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張しているグリップを設け、筒体は、挿入される指先が前記摺擦部まで届かないほど開口端から先端に向けて先細り形状をなし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを持っていることを1つの特徴としている。

【 0 0 0 7 】

このような構成では、筒体にその後端の開口端から指を挿入して装着することで、筒体の先端部側正面に設けられている摺擦部に指先が近づく分だけ、指で筒体を介し摺擦部をペットの歯牙や歯茎に押し当てて摺擦するのに摺擦部に押し当て力を及ぼしやすいし、押し当ての程度を摺擦部から筒体を介し指に伝わってくる反力によって実感できるので、過不足ない程度の摺擦力でペットの歯牙や歯茎を摺擦することができる。特に、筒体に挿入する指は人差し指として作業性がよく、かつ、他の指と手のひらで筒体の開口端側から正面側かつ後方に延びているグリップを後方側から握って筒体の位置を人差し指に対して固定し、摺擦作業中に筒体が入差し指から脱落するのを防止することができる。

【 0 0 0 8 】

本考案のペット用摺擦具は、また、後端に指挿入口が開口し、先端側の一側面に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、この筒体の開口端側から正面側の左右方向の中央に位置し、側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張しているグリップを一体成形して設け、筒体は、挿入される指先が前記摺擦部まで届かないほど開口端から先端に向けて先細り形状をなし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを持っていることを別の特徴としている。

【 0 0 0 9 】

このような構成では、1つの特徴の場合に加え、さらに、筒体との一体成形によりグリップを部品点数の増大なしに設けられるし、不用意に脱落することもない。

本考案のペット用摺擦部は、また、樹脂成形品であって、後端に指挿入口が開口し、先端側の一側面に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、この筒体の開口端側から正面側かつ後方に延びたグリップを設けたことを他の特徴としている。

【 0 0 1 0 】

このような構成では、別の特徴の場合に加え、さらに、樹脂成形品であることにより、軽量かつ安価になる。

【 0 0 1 1 】

このような構成では、上記各場合に加え、さらに、筒体为先細り形状であることにより小型ペット、細部を摺擦しやすいものとなる。また、筒体の背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットは、挿入した指に対し筒体の正面側の過半周壁が弾性変形しにくく指に沿ったまま、過半未満の背部側の周壁が弾性変形しやすく外側に拡張して指の太さ、長さ、挿入位置の違いにより柔軟に対応しながら、指の押し付け力を摺擦部に伝えやすくする。

【 0 0 1 2 】

このような構成では、上記各場合に加え、さらに、グリップが筒体の正面の左右方向のほぼ中央に位置することにより、手のひらは、人差し指の延長線上の右側部分が薬指から小指を伴いグリップの前部に回り込み、人差し指の延長線上の左側部分が親指を伴いグリップの前部に回り込むことで、筒体に差し込んだ人差し指との間で無理なくグリップをごく自然に握れる。しかも、グリップは側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張した形状であることによって、手のひらの右側部分と薬指から小指までがグリップを握って作る空間にほぼフィットさせられる。

【 0 0 1 3 】

この場合において、さらに、グリップは、左右方向に薄い扁平片であるものとすることができる。

【 0 0 1 4 】

このような構成では、前記の場合に加え、さらに、グリップは、手のひらの右側部分と薬指から小指までがグリップを握って作る空間にほぼフィットした上で、その空間内でかさ張らないものとなる。

【 0 0 1 5 】

この場合において、さらに、グリップは、後端部に左右に貫通した穴を持っているものとすることができる。

【 0 0 1 6 】

このような構成では、前記の場合に加え、さらに、左右方向に扁平なグリップの後端部に位置する貫通した穴は、房などの飾り具や紛失防止具を繋いだり、ラック類に引っ掛けたりするのに利用できる。

【 考案の効果 】

【 0 0 1 7 】

本考案のペット用摺擦具によれば、筒体に指を挿入して装着し使用するのに、摺擦部近くから筒体を介し摺擦部をペットの歯牙や歯茎に押し当てやすく、かつ、そのとき指に伝わってくる反力から押し当て、摺擦の状態を実感としての過不足ない押し当て力にて、無理なく、しかし効果的に摺擦して首尾よく清掃することができる上、筒体に入差し指を挿入する作業性よい状態で、他の指と手のひらでグリップを後方側から握って筒体の位置を入差し指に対して固定し、摺擦作業中に筒体が入差し指が脱落するのを防止するので、万が一の安全を図ることができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 8 】

【 図 1 】 本考案に係るペット用摺擦具の 1 つの例を示す斜視図である。

【 図 2 】 同摺擦具の断面図である。

【 図 3 】 同摺擦具の側面図である。

【 図 4 】 同摺擦具の背面図である。

【 図 5 】 同摺擦具の正面図である。

【 図 6 】 同摺擦具の前面図である。

【 図 7 】 同摺擦具の後面図である。

【 図 8 】 本考案に係るペット用摺擦具の別の例を示す斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 1 9 】

以下、本考案の実施の形態に係るペット用摺擦具について図 1 ～ 図 8 を参照しながら説明し、本考案の理解に供する。以下の説明は本考案の具体例であって、実用新案登録請求の範囲を限定するものではない。

【 0 0 2 0 】

本実施の形態のペット用摺擦具は、犬や猫を対象にした場合の 1 つの例であって、図 1、図 2 に示すように、後端に指挿入口 1 が開口し、先端側の正面側に図 1 ～ 図 7 に示すような立毛 11 または図 8 に示すような弾性突起 12 を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺

擦部 1 3 が設けられた筒体 2 を備え、この筒体 2 の開口端側から正面側かつ後方に延びたグリップ 3 を設けている。これにより、筒体 2 にその後端の開口端から指を挿入して装着することで、筒体 2 の先端部側正面に設けられている摺擦部 1 3 に指先が近づく分だけ、指で筒体 2 を介し摺擦部 1 3 をペットの歯牙や歯茎に押し当てて摺擦するのに、摺擦部 1 3 に押し当て力を及ぼしやすい。同時に、押し当ての程度を摺擦部 1 3 から筒体 2 を介し指に伝わってくる反力によって実感できる。従って、過不足ない程度の摺擦力でペットの歯牙や歯茎を摺擦することができる。特に、筒体 2 に挿入する指は人差し指として作業性がよく、かつ、他の指と手のひらで筒体 2 の開口端側から正面側かつ後方に延びているグリップ 3 を後方側から握って筒体 2 の位置を人差し指に対して固定し、摺擦作業中に筒体 2 が人差し指から脱落するのを防止することができる。この結果、筒体 2 に指を挿入して装着し使用するのに、摺擦部近くから筒体を介し摺擦部 1 3 をペットの歯牙や歯茎に押し当てやすく、かつ、そのとき指に伝わってくる反力から押し当て、摺擦の状態を実感しての過不足ない押し当て力にて、無理なく、しかし効果的に摺擦して首尾よく清掃することができるのに併せ、筒体 2 に人差し指を挿入する作業性よい状態で、他の指と手のひらでグリップを後方側から握って筒体 2 の位置を人差し指に対して固定し、摺擦作業中に筒体 2 が人差し指から脱落するのを防止するので、万が一の安全を図ることができる。ここで、筒体 2 は、グリップ 3 を一体成形して設けたものとするにより、グリップ 3 は筒体 2 との一体成形により部品点数を増大せず、成型型のキャビティが大きくなり樹脂材料が少し増量する程度で極端なコスト上昇の原因にはならない。この場合、特に、ペット用摺擦具は樹脂成形品として軽量かつ安価なものになる。また、図 2 に示すように摺擦部 1 3 に凹部 1 3 a を形成して立毛を束にして多数植毛し接着剤で固定するのにも、図 8 に示す弾性突起 1 2 を多数持ったマット 1 2 a を接着して固定するのにも、接着剤との馴染みがよく有利である。なお、立毛 1 1 は歯磨きに向き、突起 1 2 は歯茎のマッサージに向く。

【 0 0 2 1 】

筒体 2 は図 1 ~ 図 8 に示すように、開口端から先端に向けてペンシルキャップのような先細り形状をなし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリット 2 1 を持ったものとしている。このように、筒体 2 が先細り形状であることにより小型ペット、細部を摺擦しやすいものとなる。これに併せ、摺擦部 1 3 は筒体 2 の細くなった先端部で筒体 2 の軸線方向に細長い面域をなしたものと設けてあり、狭い部分でも無理なく前後に摺擦して清掃し、またマッサージできる。また、筒体 2 の背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリット 2 1 は、挿入した指に対し筒体 2 の正面側の過半周壁 2 a が弾性変形しにくく指に沿ったまま、過半未満の背部側の周壁 2 b が弾性変形しやすく外側に拡張して指の太さ、長さ、挿入位置の違いにより柔軟に対応しながら、指の押し付け力を摺擦部に伝えやすくする。

【 0 0 2 2 】

さらに、グリップ 3 は、筒体 2 正面の左右方向のほぼ中央に位置し、側面視して後部縁 3 a および前部縁 3 b が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁 3 b の曲率は後部縁 3 a の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張したものとしている。このように、グリップ 3 が筒体 2 の正面の左右方向のほぼ中央に位置することにより、手のひらは、人差し指の延長線上の右側部分が薬指から小指を伴いグリップ 3 の前部に回り込み、人差し指の延長線上の左側部分が親指を伴いグリップ 3 の前部に回り込むことで、筒体 2 に差し込んだ人差し指との間で無理なくグリップ 3 をごく自然に握れる。しかも、グリップ 3 は側面視して後部縁 3 a および前部縁 3 b が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁 3 b の曲率は後部縁 3 a の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張した形状であることによって、手のひらの右側部分と薬指から小指までがグリップを握って作る空間にほぼフィットさせられる。従って、遊びや局部的な圧迫なく握り安定操作ができる。また、グリップ 3 は、左右方向に薄い扁平片であることにより、手のひらの右側部分と薬指から小指までがグリップ 3 を握って作る空間にほぼフィットした上で、その空間内でかさ張らないものとなり、より違和感なく小さく握りより安定操作ができる。

【 0 0 2 3 】

しかも、グリップ 3 は、後端部に左右に貫通した穴 2 2 を持っており、左右方向に扁平なグリップ 3 の後端部に位置する貫通した穴 2 2 は、房などの飾り具や紛失防止具を繋いだり、ラック類に引っ掛けたりするのに利用できる。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 2 4 】

本考案のペット用摺擦具は、筒体に指を差し込み先端正面の摺擦部をペットの歯牙や歯茎に押し当て摺擦し清掃するのに、筒体から張り出したグリップを握ることで筒体が指から脱落するのを防止できる。

【符号の説明】

【 0 0 2 5 】

- 1 指挿入口
- 2 筒体
- 3 グリップ
- 3 a 前部縁
- 3 b 後部縁
- 1 1 立毛
- 1 2 弾性突起
- 1 3 摺擦部
- 2 1 スリット
- 2 2 穴

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

後端に指挿入口が開口し、

先端側の正面側に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、

この筒体の開口端側から正面側の左右方向の中央に位置し、側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張しているグリップを設け、

筒体は、挿入される指先が前記摺擦部まで届かないほど開口端から先端に向けて先細り形状をなくし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを持っていることを特徴とするペット用摺擦具。

【請求項 2】

後端に指挿入口が開口し、

先端側の一側面に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、

この筒体の開口端側から正面側の左右方向の中央に位置し、側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張しているグリップを一体成形して設け、

筒体は、挿入される指先が前記摺擦部まで届かないほど開口端から先端に向けて先細り形状をなくし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを持っていることを特徴とするペット用摺擦具。

【請求項 3】

樹脂成形品であって、

後端に指挿入口が開口し、

先端側の一側面に立毛または弾性突起を持ち主として歯や歯茎を摺擦する摺擦部が設けられた筒体を備え、

この筒体の開口端側から正面側の左右方向の中央に位置し、側面視して後部縁および前部縁が共に後方に凸をなして湾曲し、前部縁の曲率は後部縁の曲率よりも大きく、側面視幅が基部から後端に向け拡張しているグリップを設け、

筒体は、挿入される指先が前記摺擦部まで届かないほど開口端から先端に向けて先細り形状をなくし、かつ、背面側に寄った左右対称位置に開口端から摺擦部近傍まで切り込んだスリットを持っていることを特徴とするペット用摺擦具。

【請求項 4】

グリップは、左右方向に薄い扁平片である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のペット用摺擦具。

【請求項 5】

グリップは、後端部に左右に貫通した穴を持っている請求項 4 に記載のペット用摺擦具。